

セキュリティチェックシート回答

Address

情報システム部門の審査で
よく聞かれる項目に、先にお答えします。

全12分野・**61項目**。「未対応」「未取得」のものも、そのまま書いています。

回答の見方



対応



一部対応



未対応



説明のみ

目次

01 会社・契約**02** 保存場所・委託先**03** 暗号化**04** ログイン・権限**05** ログ・監査**06** 社員によるアクセス**07** AI**08** 可用性・バックアップ**09** 取り出し・解約・削除**10** 開発・脆弱性への対応**11** 事故への対応**12** 外部サービスとの連携

- 御社独自のチェックシートへの回答、システム構成図、データの取り扱いに関する覚書は、秘密保持契約のもとで個別にお渡しします
- このシートに無い項目は、サポートフォーム (hp.address.com/support) または privacy@team.address.co.jp までお問い合わせください
- あわせてご覧ください: セキュリティ hp.address.com/ja/security / プライバシーポリシー hp.address.com/ja/policy / 利用規約 hp.address.com/ja/terms

01 会社・契約

運営会社と契約

No	項目	回答	補足
1-1	運営会社	—	アドネス株式会社(代表責任者:三上 功太)〒160-0004 東京都新宿区四谷4-10-12
1-2	準拠法・裁判管轄	—	日本法。第一審の専属的合意管轄は東京地方裁判所
1-3	秘密保持	☒	利用規約に相互の秘密保持条項があり、契約終了後3年間続きます。別途、秘密保持契約を結ぶこともできます
1-4	第三者認証(ISMS／ISO 27001・SOC 2・プライバシーマーク)	☐	現時点で取得していません
1-5	プライバシーポリシー	☒	個人情報保護法・電気通信事業法に基づいて整備しています
1-6	個人情報の問い合わせ窓口	☒	privacy@team.address.co.jp

02 データの保存場所・委託先

データはどこに置かれるか

No	項目	回答	補足
2-1	主なデータの保存場所	☒	データベース・ファイル・バックアップは日本(AWS 東京リージョン)に保存します。会議の録画動画は Cloudflare R2 に保存しており、保管地域はアジア太平洋(APAC)と表示されますが、具体的な国は特定できていません
2-2	国外での処理	—	あります。AI処理・ログイン・エラー監視・アクセス解析・ホスティング・通知・決済・会議botの文字起こしは米国、会議の文字起こしの一部はEU域内の外部サービスで処理します。国外の委託先とは個人データの処理に関する契約を結んでいます
2-3	委託先の一覧	☒	プライバシーポリシーの「4. 委託先および外部サービスへの取扱いの委託」に掲載しています

No	項目	回答	補足
2-4	お客様データの権利	—	お客様（または正当な権利者）に残ります。当社が使うのは、サービスの提供・維持・改善、AIへの文脈の受け渡し、検索・表示・バックアップのために、お客様が公開設定にしたものに限り、サービスの宣伝に使うことがあります（利用規約第11条）。チャット・録音・文字起こしなどの通信内容は、お客様の同意か法令上の根拠がない限り、公開・販売・第三者提供しません
2-5	他の組織との分離	☒	組織ごとにデータを分け、他の組織からは参照できません。ファイルは非公開の保存場所に置き、有効期限付きのURLでのみ配信します
2-6	自社のサーバー（オンプレミス）・閉じたネットワークでの利用	☐	使えません。クラウドのサービスとして提供しています

03 暗号化

通信も保存も暗号化

No	項目	回答	補足
3-1	通信の暗号化	☒	TLS 1.2以上（TLS 1.3対応）
3-2	保存データの暗号化	☒	データベース・ファイル・バックアップを暗号化しています。鍵はAWS KMSで管理し、自動で入れ替えます
3-3	連携先の認証情報	☒	Google・Slackなど連携先のアクセストークンはAES-256-GCMで暗号化して保存します

04 ログイン・権限

誰が入れて、何が見えるか

No	項目	回答	補足
4-1	ログイン方式	☒	メールに届くワンタイムコード、またはGoogle・Appleアカウント。当社はパスワードを預かりません
4-2	2要素認証	☐	各利用者が認証アプリで設定できます（ベータ）。組織として全員に必須にする設定はありません
4-3	ログイン失敗時のロック・不正登録対策	☒	連続して失敗するとロックがかかります。登録時にボット対策をしています

No	項目	回答	補足
4-4	SAMLによるシングルサインオン		未対応
4-5	SCIMによるアカウント管理		未対応
4-6	IPアドレス制限		未対応
4-7	権限の設定		ゴールごとに「責任者・編集者・メンバー（閲覧とコメント）」を設定し、上のゴールの権限は下に引き継がれます。どこにもアサインされていないゴールは、同じ組織のメンバーにも見えません。部署・グループ単位でまとめて付ける仕組みはありません
4-8	組織の管理者が見られる範囲		組織の管理者は、アサインに関係なく組織内のほぼすべてのデータを見られます。管理者は最小限の人数に絞ることをおすすめしています
4-9	ゲスト（社外の人）の権限		閲覧・コメント・チャットのみ。ゴールの作成・編集はできません
4-10	退職者・外部協力者のアクセス停止		管理者が組織から外すと、Addressの画面からも、その人のAIからも、次の操作から拒否されます。通知・チャットの接続も最大60秒ほどで切れます。その人が担当していたゴールは、上のゴールの責任者に移ります
4-11	招待リンクの管理		発行は管理者のみ。1～14日の有効期限と使用回数を付けられ、いつでも無効にできます

05 ログ・監査

操作の記録

No	項目	回答	補足
5-1	利用者の操作履歴		ゴールごとの変更・コメント・メンバー操作の履歴（アクティビティログ）を画面で見られます
5-2	組織全体の監査ログ（ログイン履歴など）とその書き出し		未対応
5-3	運営側のログの保管		クラウドの操作ログ（AWS CloudTrail）とネットワークのログを、監査専用のアカウントに分けて保管しています

社員は原則として見ません

No	項目	回答	補足
6-1	社員がお客様データを見るか	—	原則として見ません。サポートや障害対応で必要な場合に限り、権限を持つ担当者だけがアクセスします
6-2	アクセスの管理と記録	☒	本番データへのアクセスは役割別の権限（読み取り専用・変更可・管理者）に分け、すべての操作を暗号化して記録します
6-3	社員用の管理画面	—	お客様のゴールやチャットの中身を見る機能、お客様になりすましてログインする機能はありません
6-4	クラウド管理アカウント	☒	シングルサインオンで一元管理しています

AIの学習には使われません

No	項目	回答	補足
7-1	AIの学習への利用	☒ 利用しない	AddressのAI機能（要約・議事録など）で送るデータは学習に使われません。学習に使わない契約条件の外部AIサービスのAPIだけを使っています
7-2	AI提供者側でのデータ保持	—	不正利用の監視のため、最長30日です
7-3	AIに送る範囲	—	その機能に必要な情報だけです。組織のデータをまとめて送ることはありません
7-4	AIが読める範囲	—	使っている人がAddressで見られる範囲だけです。他の組織のデータや、見る権限の無いゴールは読めません
7-5	お客様のAI（Claude Code・Codexなど）との接続	—	お客様のパソコンで動くのは、お客様が入れたAIです。Addressがパソコンを操作することはありません。そのAIが入力を学習に使うかは、お客様のAIの契約・設定によります

止めない・失わない

No	項目	回答	補足
8-1	冗長化		データベースを複数の可用性ゾーンで冗長化しています (Multi-AZ)
8-2	監視		24時間監視し、異常時は担当者へすぐ通知します。Amazon GuardDuty・AWS Security Hub・AWS Config・IAM Access Analyzerを有効にしています
8-3	SLA (稼働率の保証)		可用性99.9% (28日間) を目標に運用していますが、保証値 (SLA) ではありません
8-4	バックアップ		毎日自動で取得し、7日間保管します。データベースは削除保護を有効にしています
8-5	誤って消したデータ		消したゴールは30日以内ならゴミ箱から戻せます。成果物・メンバーの除外・画面録画など、消すと戻せないものもあります

解約した後のデータ

No	項目	回答	補足
9-1	データの書き出し		組織全体をまとめて書き出す機能はありません。ドライブのファイルはダウンロード、チャットは管理者が会話ごとにCSVで書き出せます。ゴール・本文・コメントは、お使いのAI (Claude Code・Codex) 経由でファイルにできます
9-2	解約した後のデータ		消えずに残り、契約し直せば続きから使えます。契約が切れている間は、画面からもAIからも開けません
9-3	データの削除		組織・アカウントの削除に対応しています。削除した組織・アカウントは誰も開けず、元に戻せません (バックアップからの復元も原則行いません)。データはすぐには消去せず保管し、法令に基づく要請など必要な場合を除き、運営が中身を見ることはありません。保管したデータは、お客様固有の情報を使わない形で、サービスの品質向上に役立てることがあります (AIの学習には使いません)。完全な削除をご希望の場合は、個別にお申し出いただければ対応します (2026年10月17日以降に削除されたものに適用)。削除証明書については個別にお問い合わせください

No	項目	回答	補足
9-4	法令で保存が必要な記録	—	決済など、法令で保存が定められた記録はその期間保存します

10 開発・脆弱性への対応

作り方と、弱点のふさぎ方

No	項目	回答	補足
10-1	開発・運用の体制	○	本番と検証の環境を分けています。インフラはコードで管理し、変更はレビューを経て反映します。APIキーなどの秘密情報はAWS Secrets Managerで管理します
10-2	ネットワーク	○	データベースとアプリケーションはプライベートネットワーク内に置き、インターネットから直接届きません
10-3	脆弱性対策	○	依存ライブラリの自動更新と脆弱性スキャン、コードレビューを続けています
10-4	外部の会社による脆弱性診断	—	現在申請中です。それまでの間も、最新のローカルLLMを使って毎日、脆弱性を自動で点検しています
10-5	アップロードファイルの検査	△	実行形式など危険な種類のファイルは受け付けません。ウイルスのスキャンは行っていません
10-6	脆弱性の報告窓口	○	サポートフォームまたは privacy@team.address.co.jp で受け付けます

11 事故（インシデント）への対応

起きた時の手順と連絡

No	項目	回答	補足
11-1	対応手順	○	検知・封じ込め・調査・復旧・報告の手順を決めています。発生後は原因と再発防止策を記録します
11-2	お客様への連絡	○	お客様のデータに影響する事故が起きた場合は、発覚から原則24時間以内に、影響を受けるお客様へお知らせします

許可した範囲だけ

No	項目	回答	補足
12-1	連携の仕組み		お客様が自分で有効にした連携だけが動きます。OAuthで連携し、パスワードは預かりません。いつでも解除でき、解除すると保存していた認証情報も消えます
12-2	Googleカレンダー		読み取りのみ。読むカレンダーを選べます
12-3	Google Drive		お客様が選んだファイルだけを読み取り・更新します
12-4	Slack		Addressからの通知を投稿するだけです。メッセージは読みません
12-5	個人のLINE連携		本人がパソコンのアプリ (Address Desktop) でログインした時だけ動き、本人のAIが頼んだ時に、そのパソコンのアプリが読みに行きます
12-6	会議の録音 (議事録bot)		招待された会議だけに参加します。参加者への説明と同意の取得は、録音を始める利用者をお願いしています (利用規約第4条の3)。録画を処理する委託先では、動画を7日で削除します